

I. 巻頭言

『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告2013』を刊行いたします。

東北大学埋蔵文化財調査室は、施設整備などに先立つ、構内遺跡の記録保存のための調査と、それに関連する業務を担当する、東北大学の特定事業組織です。埋蔵文化財調査室では、『東北大学埋蔵文化財調査室調査報告』と『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告』という、二種類の報告書を刊行しています。

施設整備などに伴う記録保存のための本調査については、その発掘調査報告書を、『東北大学埋蔵文化財調査室調査報告』（以下『調査報告』と略記）というシリーズ名で、各調査ごと刊行しています。『東北大学埋蔵文化財調査室年次報告』（以下『年次報告』と略記）は、埋蔵文化財調査室の事業概要を迅速に報告するという目的のために、毎年度ごとに報告しています。

本年次報告では、埋蔵文化財調査室が2013年度に実施した埋蔵文化財調査の概要、および調査室が実施したその他の事業について概要をとりまとめて報告いたします。前年度も終盤となった2013年1月に、平成24年度補正予算が発表され、東北大学には震災復興に関わる多額の施設整備費が措置されることとなりました。その中には、事前に発掘調査が必要な事業も多数含まれていたため、2013年度は当初の予定を急遽変更し、年度当初より対応する調査を実施することとなりました。そのため、実施中であった川内北地区の課外活動施設新営に伴う調査と、中断中であった地下鉄東西線川内駅前整備に伴う調査は、これら補正予算に関わる調査を先行して実施するため、その後に先延ばしせざるを得なくなりました。

東日本大震災以降、2012年度は震災復旧事業に伴う調査を実施してきましたが、2013年度には震災復興に関わる事業に伴う調査を実施することとなりました。そのため埋蔵文化財調査室は、経験したことのない業務量をこなす必要にせまられております。幸い、学内外の関係機関や関係者の多大なご協力を得て、滞りなく事業を進めることができました。ここに厚くお礼申しあげるとともに、今後ともご支援とご協力をお願いいたします。

埋蔵文化財調査室長 阿子島 香